

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Pembrolizumab(3週毎)+ nab-PTX(3投1休)療法

12週毎 コース予定

【進行・再発】乳癌

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

		day1	8	15	22	29	36	43	50	57	64	71	78
キイトルーダ(ペムブロリズマブ)	200 mg/body	↓			↓			↓			↓		
アブラキサン[パクリタキセル(アルブミン懸濁型)]	100 mg/m ²	↓	↓	↓	休	↓	↓	↓	休	↓	↓	↓	休

注意 * ペムブロリズマブはインラインフィルター(0.2または0.22 μm)を使用すること

* 他剤使用時はペムブロリズマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること

* パクリタキセル(アルブミン懸濁型)投与時、インラインフィルターは使用しないこと

* パクリタキセル(アルブミン懸濁型)は特定生物由来製品であるため同意を取得すること

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day 1, 43, 64

- ① 生食 500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② キイトルーダ 200 mg + 生食 50 mL 点滴静注30分(100 mL/時間)
- ◎メインの生食でフラッシュ
- ③ デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL 側管静注
- ◎メインの生食でフラッシュ
- ★アブラキサン投与前にインラインフィルターなしのラインへ変更すること★
- ④ アブラキサン + 生食 50 mL 点滴静注30分

* アブラキサンはインラインフィルターを使用しないこと

* アブラキサン1バイアルに対し生食20 mLで懸濁後(5 mg/mL)、必要量抜き取り、空の点滴バック(残った生食はすべて抜き取る)に注入する。

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

day 8, 15, 29, 36, 57, 71

- ① 生食 500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL 側管静注

◎メインの生食でフラッシュ

- ③ アブラキサン + 生食 50 mL 点滴静注 30分
- * アブラキサン1バイアルに対し生食20 mLで懸濁後(5 mg/mL)、必要量抜き取り、空の点滴バック(残った生食はすべて抜く)に注入する。

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

day 22

- ① 生食500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② キイトルーダ 200 mg + 生食50 mL 点滴静注 30分(100 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

	コース						
	day1	day8	day15	day22	day29	day36	day43
	/	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ 開始時刻	↓			↓			↓
アブラキサン 開始時刻	↓	↓	↓		↓	↓	↓
確認							

	day50	day57	day64	day71
	/	/	/	/
キイトルーダ 開始時刻			↓	
アブラキサン 開始時刻		↓	↓	↓
確認				